
東方ア・ラ・モード

けい

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方ア・ラ・モード

【Nコード】

N77940

【作者名】

けい

【あらすじ】

おやつの取り合いIN紅魔館。

（前書き）

東方projectの二次創作です。

「フラン、この暴挙、紅魔館の主として——いや、あなたの姉として許すわけにはいかない。神槍「スピア・ザ・グングニル」……！」

「いいわ、遊びましょうお姉様。私、まだまだ足りないの！ 禁忌

「レーヴァテイン」！」

「来なさい！」

「アハハ！」

縦横無尽に交錯する吸血鬼の姉妹。お互いの血液が霧となるほどに激しく刃を交える。あるいは憎しみに顔を歪め、あるいは狂気に身を任せながら。

「こあー！」

「だめ、あぁなつてしまった二人を止めることはできない」

「どうしてこんなことに……すべて私のせいです！」

「いいえ咲夜。あなたは何も悪くないわ。運命のいたずらだったのよ」

「しかし、パチュリー様！ 私がっ」

「……咲夜」

「私のもう一つプリンを用意していればこのようなことには！」
「…本当よね」

ハンカチを嚙んで泣き崩れる完全で（笑）瀟洒な（笑）従者（笑）。

何事もなかったように読書を再開する動かない大図書館。
瓦礫に潰されて口から魂が出かかっている小悪魔。

「うー！ おやつの恨みは重いわよフラン！」
「うふふ、生クリームつきでとっても甘かったわお姉様！」

「懲りませんねえ、妹様も」
「懲りないのかー？」
「頭かじるのやめてくれませんか？」
「やめないのかー」
「まあ、ナイフよりはいいかな…」

門の外で爆音を聞きながら欠伸を嚙み殺す美鈴。
幻想郷は今日も平和です。

(後書き)

こういったおふざけな話が好きです。
そして紅魔館が好きです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7794o/>

東方ア・ラ・モード

2010年11月8日01時40分発行